



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

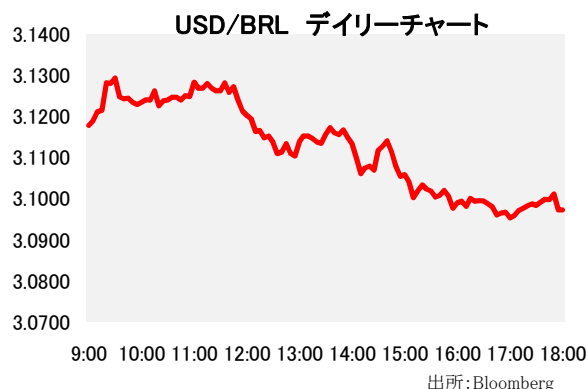
1. マーケット・レート

			5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	5月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0380	3.0020	3.0380	3.0940	3.0970	+0.0030
	BRL/JPY	Spot	39.75	40.42	39.83	39.30	39.24	-0.06
	EUR/USD	Spot	1.1149	1.1094	1.1115	1.1015	1.0977	-0.0038
	USD/JPY	Spot	120.70	121.35	121.04	121.54	121.57	+0.03
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.796	13.765	13.775	13.754	13.741	-0.013
	Future	1Year(p.a.)	13.802	13.701	13.737	13.694	13.669	-0.025
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.050	1.478	1.575	1.661	1.653	-0.008
	USD	1Year(p.a.)	2.046	2.036	2.097	2.218	2.295	+0.077
株式	Bovespa指数		55,499	54,901	55,112	54,377	54,609	232
CDS	CDS Brazil 5y		228.00	224.50	221.90	222.00	222.26	+0.26
商品	CRB指数		226.217	226.429	228.239	225.564	休場	-

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

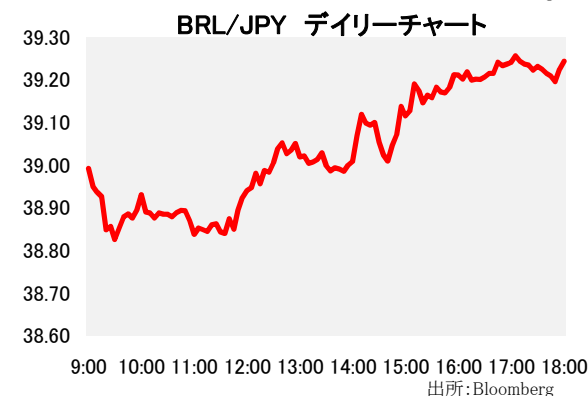
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.61%	0.68%	0.65%
Federal Debt Total	--	2451B	2441B
貿易収支(週次)	--	\$296M	\$676M



3. 要人コメント

レヴィ伯財務相	我々は増税を急いでいない。今は予算案に集中すべきだ。
---------	----------------------------



4. トピックス

- 本日のドルレアルは3.0930で寄り付き、オープン直後に高値となる3.0900をつけた。週末の報道で、レヴィ伯財務相が2016年より前にブラジルの景気回復を予想していないとの報道が出たことや、早朝に発表された中銀のアナリスト予想集計でブラジルに対する見方が更に弱まっていることが示されると、レアルは売りが優勢となり、本日の安値となる3.1330を示現した。午後に入り、原油価格が急反発すると、資源株と金融株主導でボベスパ指数が反発し、レアルも上昇に転じた。レアルは引けにかけて3.10を上抜け、結局3.0970でクローズした。
- 早朝に発表された中銀によるアナリスト予想集計では、2015年の経済成長率予想が-1.2%から-1.24%へ下方修正され、インフレ率は8.31%から8.37%に上方修正された。2015年の経済成長率予想は先週据え置きとなっていたが、今回は再び下方修正された。インフレ率予想は6週連続の上方修正となった。今回の調査では2015年末の政策金利予想が13.50から13.75%に引き上げられ、市場参加者のインフレ懸念が収まっていないことが示された。
- 本日は米国祝日だったが、米国の製油所の需要増加を背景に欧州勢の買いで原油先物が急反発。WTI先物7月限は一時60.25ドルをつけている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。